

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1135 交通安全対策経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本 施策	12 犯罪や交通事故を未然に防ぐ	目	15	交通安全対策費
		細目	148	交通安全対策経費
		細々目	51	交通安全対策経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード	753000		担当者
	名称	青山支所住民福祉課		氏名
		連絡先	52 - 3227 (内線) 113	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	公共交通機関利用者及び送迎者、近鉄青山町駅及び伊賀上津駅周辺住民 ※対象件数
成果(どうする)	近鉄青山町駅前及び伊賀上津駅に自転車等駐車を設置することにより公共交通機関利用者の利便の提供が図れる。
根拠法令・要綱等	交通安全対策基本法、三重県交通災害共済条例、伊賀市自転車等駐車条例
開始年度	平成 年度
終了年度	平成 年度
H21 事業内容	青山町駅前自転車等駐車場458.80㎡(約350台)及び伊賀上津駅前自転車等駐車場182.58㎡(約50台)が設置されているが、引き続き管理運営を行った。 全国・県民交通安全運動期間中の街頭啓発により安全思想の高揚を図った。
社会情勢 の変化等	自転車等駐車場については、指定管理者制度の導入により平成18年度より指定管理者(シルバー人材センター)に管理を委ねていたが、指定管理を見直し、平成21年度より管理業務委託を行っている。

整備内容(「施設の新設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の新設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
指定管理活動内容・回数	回/週		目標 青山3回・上津1回	目標 青山3回・上津1回	青山3回・上津1回	青山3回・上津1回
			実績 青山3回・上津1回	実績 青山3回・上津1回		
駐輪場内放置自転車撤去台数	台		目標	目標	13	13
			実績	実績	13	8

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
交通安全運動街頭指導	交通安全運動街頭指導 数	交通安全防止キャンペーン参加人数	人	目標 80	目標 80	80	90
				実績 80	実績 80	80	90
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	1,486	1,468	1,466	1,466				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0	0						
一般財源	1,486	1,468	1,466	1,466				
事業投入人件費(B)	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	1,440	0.2人	
フルコスト(A)+(B)	2,926	2,908	2,906	2,906				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
有効性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
達成度	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	○
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効率性	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	○
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
その他	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効果	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求められることができる事業である。	
改善策	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	土地賃借料の縮減を目指す。	
昨年度の 取組状況	平成21年度は指定管理を見直して、シルバー人材センターに管理業務委託。経費は20年度比86%に削減した。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	青山町駅前自転車等駐車場等の整備・運営については、シルバー人材センターに委ねている。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	

今後の方向性(Action)

評価者氏名 (担当課長)	森本 君枝
【方向性】	現状維持
【理由】	駅前自転車等駐車場を設置し、維持管理することで迷惑駐車を抑制することができる。街の美観と良好な生活環境の保持を図るため、今後も事業を継続していく必要がある。
現時点における 課題、その他	土地賃借料の縮減
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	平成23年度からの土地賃借契約に向けて、土地所有者と協議する。